

令和 4年度予算見積調書

課室名：交通政策課
 担当名：交通企画・バス担当
 内線：2239 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B46	地域公共交通活性化事業費		一般会計	総務費	企画費	企画調整費	地域公共交通活性化事業費	
事業期間	平成10年度～	根拠法令	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律		針路	09 未来を見据えた社会基盤の創造	SDGsゴール	9, 11, 17
					分野施策	0902 埼玉の価値を高める公共交通網の充実	SDGsターゲット	9-1, 11-2, 17-17
1 事業概要			5 事業説明					
地域住民の日常生活の足として重要なバス路線の維持・確保を図るとともに、地域公共交通の利便性向上や利用促進等の取組を行い、地域公共交通の活性化を図る。 (1) バス路線維持対策費 99,218千円 (2) タクシーバリアフリー化促進事業費 48,400千円 (3) 地域公共交通活性化促進事業費 34,841千円			(1) 事業内容 ア バス路線維持対策費 99,218千円 (ア) バス路線の維持・確保事業 98,886千円 バス路線の維持・確保を図るため、市町村等に対し、運行経費を補助する。 (イ) 交通政策研修会 332千円 市町村職員の資質向上を図るため、交通政策研修会を開催する。 イ タクシーバリアフリー化促進事業費 48,400千円 バリアフリー法に基づく基本方針における次期目標が示されたことに伴い、より一層タクシーのバリアフリー化を促進していく必要があるため、タクシー事業者に対し、UDタクシー等車両導入費を補助する。 ウ 地域公共交通活性化促進事業費 34,841千円 地域公共交通の確保・充実を図るため、市町村等に対し、再編や利用促進に係る経費を補助する。 (2) 事業計画 ア バス路線の維持・確保 2事業者 8市町 22路線 交通政策研修会の開催 2回 イ UDタクシー車両等の導入費補助 UDタクシー 70台 福祉タクシー 8台 ウ 地域公共交通の再編・利用促進支援 9市町 (3) 事業効果 ア 地域住民の日常生活を支える交通手段であるバス路線の維持・確保が図られる。 イ タクシーの利便性、快適性を向上させ、タクシーの利用促進が図られる。 ウ 地域公共交通の再編や利用を促進し、地域公共交通の確保・充実が図られる。					
2 事業主体及び負担区分								
(1) (県1/2) 国又は市町村1/2 (2) 県定額補助 (3) (県1/2) 市町村								
3 地方財政措置の状況								
バス路線維持対策費 特別交付税措置(8/10) ※ 一部財政力指数による調整あり (特別交付税に関する省令4条)								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×3.3人=31,350千円								
予算額			財源内訳				一般財源	前年との対比
決定額			国庫支出金				174,827	△159,398
前年額			135,000				206,857	